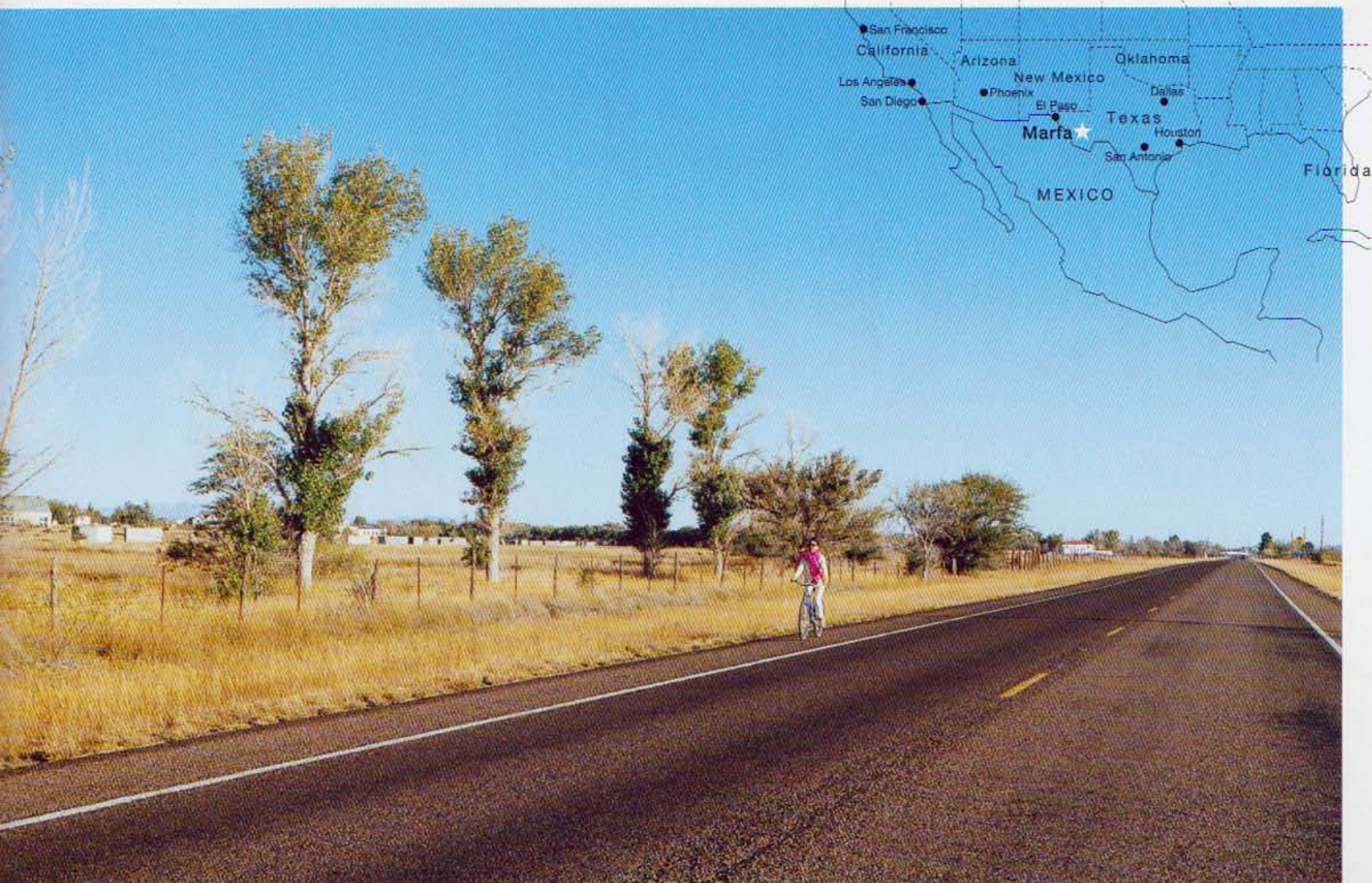


WELCOME TO MARFA, TEXAS

〈dosa〉のクリスティーナが案内する
夢の場所、マーファの魅力。

photo_Yoko Takahashi text_Hitoshi Okamoto
coordination_Aya Muto map_Kenji Oguro





レンタル自転車で散策するのが大好き。いまクリスティーナが走っている道路は〈チナティ・ファウンデーション〉の敷地の横。向こうにジャッドの作品《コンクリートワークス》が見えている。

WELCOME TO MARFA

クリスティーナと マーファのつながり。

旅することが発想の原点だから、「トラベラー」という
クローズラインを、毎年秋に発表している〈dosa〉。
テキサス州の小さな町が新しい旅先に選ばれたのはなぜ？

直

ブが、2010年から〈dosa〉の洋服を扱い始めたことだった。

「扱いが決まって半年後に、私はマーファへ向かいました。アメリカらしい風景を愛する人、建築やアートに触発されたい人にとって、マーファは聖地と言ってもいい夢の場所だから、一刻も早く行きたかったのです。何よりもまず現代美術のカリスマ、ドナルド・ジャッドの世界を実際に自分の眼で見てもみたく。美大生のところから特別の敬意を払っていました。でもここに来るまでは、いまほどジャッドのことを理解していなかったかもしれない。最も印象に残ったのは大胆さとスケールでした。確かに単体の作品ならアメリカ

接のきっかけは、マーファにある〈ティエンダ M〉というショップ

の他の美術館でも鑑賞可能だが、マーファはジャッドがニューヨークから移り住んで暮らした場所であり、町には彼の住居やスタジオなどが点在している。そして、彼自身が理想とする形で大規模なインスタレーション作品を恒久展示する美術館〈チナティ・ファウンデーション〉がある。何度もチナティに足を運んでいるクリスティーナと共に〈MILL ALUMINUM〉を観る。100個のアルミニウム



土曜日のファーマーズマーケットで卵を売る老カウボーイと情報交換。

CHRISTINA KIM

クリスティーナ・キム ファッションデザイナー。自らのブランド〈dosa〉のデザインと経営の指揮を執るかたわら、インスタレーション作品を発表するなど、パワフルに活動する。韓国生まれ、ロサンゼルス在住。

チナティの敷地総面積は340エーカー（137万6,000㎡＝東京ドームおよそ30個分）だそうだ。1回の見学ツアー（p.125参照）ですべての作品を観ることはなかなか難しい。



TIENDA M

クリスティーナの新しい店 〈ティエンダ M〉へ。

マーファと(dosa)を結びつけた店を受け継いで、さらに発展させていく役割を彼女が担うことになった。



1

1 これを機にマーファに滞在する日数を増やしたいと言うクリスティーナ(右)。2 マリアナとクリスティーナの共通の友人が来店。「マリアナが新オーナーにクリスティーナを指名したのは正しい選

択ね」と話していた。3 グラデーシジョンが美しい。4 蛍光色のウォレットはサム・シオンザイとのコラボレーション。ショールはチティで観たダン・フレイヴィンの作品に触発されたもの。

ク
クリスティーナが〈ティエンダ M〉の前のオーナーだったマリアナから、この店を引き継いでほしいと頼まれたのは、去年の7月だったそうだ。そのわずか2か月後にクリスティーナは新しい店をオープンさせている。名前はそのまま残すことにした。

「最初の訪問以来、1年に2〜3度はマーファを訪ねるようになりました。そして面白いアーティストや職人に次々と出会えたんです。例えばサム・シオンザイとは、初めてマーファに来た日の夕食の場で知り合いました。彼はそのレストランのウェイターだった。夕食の前に私は本屋さんに寄って、気に入ったポストカードを何枚か買ったのですが、後になってそれがサムの作品だったことを知りました。何度か話すうちに一緒に何かを作ってみようということになったんです。だからサムは、私がこの店を継ぐ前から(dosa)の



3



2

ティエンダ エム (dosa) の商品を中心に、
マーファとその近郊に住む人たちが作った工
芸品などを扱う。サザン・パシフィック鉄道
の踏切のすぐそば。●108 S. Highland Ave.,
Marfa, TX ☎(1)432-729-4440。12時~18時。
月曜・火曜休。

協力者でした」

「マリアナが開いたヘティエンダ M」は、マーファで作られたものとメキシコで作られたもの、そして「Gosé」の商品というシンプルな構成の店だった。クリスティーナの考えもまったく同じだったから、大きく変える必要がなかった。とはいえ、やはり彼女なりの審美眼がそこかしこに差し挟まれている。陶芸家のミニとロベルトの作品を、マリアナは白と黒とテラコッタの3色を扱っていたそうだが、クリスティーナは白だけを選んで並べた。

「彼らの作る白い器に、私は韓国の伝統的な陶器に類似したニュアンスを感じます。地元の人々の作品を通じて、私のルーツをこの店に持ち込むことができました。私にとって何よりも肝心なのは、ただローカルプロダクトを大事にするということではありません。地元のアーティストや職人たちのやっていることが、私の価値観の中で良いものでなければならぬのです。そういう意味で、いま一緒にコラボレーションしている人たちはほとんども満足しています」



4

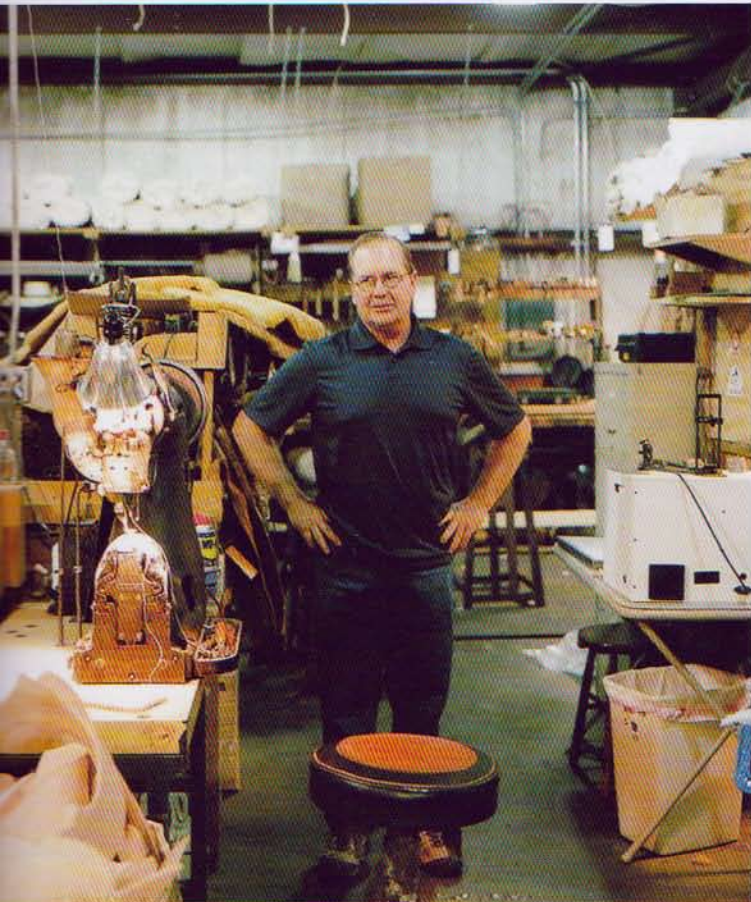
MEET LOCALS

〈ティエンダ M〉を支える クラブツマンとアーティスト。

〈ティエンダ M〉に並べられた品々を作った人たちは、どうやってクリスティーナと知り合い、どんな顔をしてどんな考えを持っているのかを知りたくなった。

出

会いはいろいろだった。ある日たまたま泊まったマーファのモーターのロビーでクリスティーナは石鹸を買った。部屋に持ち帰るとその匂いのおかげで自分の家に居るような安らかな気持ちになれた。すぐに作っている人に会いたくなった。(マーファ・ブランド・ソープ)のジンジャー・グリフィスとはそうやって知り合ったのだそう。二人で相談をしながら、特注の匂いとサイズの、オアハカの紙に包まれた新しい石鹸を作った。クリスティーナは、隣のアルバインに優秀な革職人がいると聞いて立ち寄ってみたことがある。カウボーイのためのギアを中心に扱う(ビッグ・バンド・サドラリー)という店だったが、そこに興味を惹くものを見つけ出し、彼女はティールを変更できないかどうか相談を試みた。「見るから



BRET COLLIER

BIG BEND SADDLERY

ブレット・コリアー ビッグ・バンド・サドラリー

ブレットはウィチタフォールズ出身。アルバインの大学を卒業後、1905年創業のこの店の共同経営者になった。(ティエンダ M)のためにコースターやマウスパッドなどを制作。ここで買った革のバッグをクリスティーナが洗って使っていることに驚いていた。



GINGER GRIFFITH

MARFA BRAND SOAP

ジンジャー・グリフィス マーファ・ブランド・ソープ

グラス出身のグリフィスは、ニューヨークで写真関係の仕事をした後にマーファへ移り住んだ。マーファの風景の中で成り立つ仕事は何かと考えたときに「石鹸」が頭に浮かんでこの仕事を始めたのだそう。香りの調合については南仏のグラスで学んだ。



にこの店の顧客とは違うタイプだし、クリスティーナの質問や提案はいつも僕を驚かせるようなものだから、こちらにも新しいアイデアが浮かぶんです」とフレット・コリアーは言う。

アルバインには陶芸家のミミとロベルトのドブソン夫妻もいる。彼らはマリアナがオーナーだったころから、「ティエンダ M」のためにポウルやプレートを制作していた。クリスティーナはそれを引き継ぎ付き合いを続けている。

そしてサム・シオンザイ。「僕が働いていたレストランで話していくうちに、共通の知り合いがいることもわかったし、そもそも僕の父親はニューヨークにある（S&S）で、母のための買い物をよくしていた。彼女は僕の作品を気に入ってくれて、僕自身が特別に意識していなかったネオンカラーなどの色の使い方の個性を見いだしてくれた」

みな表現は違うけれど、一様にクリスティーナが拾い集めた断片をどのようにお店にまとめあげているのかを見るのが楽しみと言っていたのが印象的だった。



集めた商品を「オーガナイズ病ね」とクリスティーナ自身が笑うほど繊細に整えたティエンダ M。



SAM SCHONZEIT

サム・シオンザイ

ニューヨーク出身のアーティスト。オースティンの大学で建築の学位を取り、4年ほど前にマーファにやってきた。最初はモーターのデザインに関わり、さらに小学校の美術教師の仕事を得て移住を決めた。さまざまな素材とメディアを駆使して作品を制作している。



MIMI & ROBERTO DOPSON

MIMI Y ROBERTO

ミミ&ロベルト・ドブソン ミミ・イ・ロベルト

二人はオースティンで産科医院を営んでいた。引退後にアルバインに引っ越し大学に通い直してから陶芸を始めた。勉強のために益子を訪れたこともある。ポウルをロベルトが、プレートをミミが作る。クリスティーナとマリアナの美意識の違いを楽しんでいるようだ。



マ

リアナはドナルド・ジャッドと暮らすため1993年にドイツから

マーファアへやってきた。結婚こそしなかったものの公私にわたるパートナーだった。彼女は〈チナティ・ファウンデーション〉の名譽ディレクターであり(現在は名誉ディレクター)、大著『CHINATI・THE VISION OF DONALD Judd』の執筆者、つまり晩年のジャッドを最もよく知る女性である。彼女が見てきたマーファアと〈ティエンダM〉を語る。

マーファアは寂れて疲弊した地方都市再生のモデルのように思われていますが、確かにこの20年近くで大きく変わりました。とはいえ経済的に裕福になったわけでもなく、もともとこの土地にあった家々を見れば、決して楽な暮らしをしているのではないことがわかってきます。でも、ここでは観光だけを活性化の材料にしようという試みではない、もっと将来を見据えてコミュニティを育もうとしている人たちがいます。

私が〈ティエンダM〉をオープンしたのは2009年の夏の終わりでした。もともとはチナティ・ストアのようなものをやりたかったのですが、財団の理事たちに反対されました。そこで頭を切り替えて、自分の好きなものを置く店にしたのです。ティエンダというのはスペイン語で「お店」という意味。Mは「マーファ」それと

も「リアナ」? それは内緒にしておきましょう。メキシコとアメリカ両方のカルチャーに敬意を表してこの名前を選びました。

最初はメキシコのクラフトを扱っていましたが、チワワ地方のバスケットやテキスタイルなど。オアハカにも足を運びました。友人のトリート・エリツクグラド(クリスティーナの友人でもあるオアハカ在住のテキスタイルアーティスト)に作り手を紹介してもらい、陶器やラグやジュエリーなどを集めました。素晴らしいクオリティだったのに、あまり売れなかつた。それで、人々は何を買うのだろうと考えて、洋服を扱うことにしたのです。クリスティーナのこゝとをトリートから聞いていたので、ロサンゼルスに行きました。私の好きな、丁寧な手仕事とクラフトマンシップに満ちた素敵な洋服だったから、〈ティエンダM〉に置くことにしました。それが2010年4月。

それからお店はうまくまわるようになったけれど、もともとドイツ出身の私はヨーロッパも恋しかったのです。それで1年のうちの半分をベルリンで暮らすことにしました。だからクリスティーナにお店を譲った。名前も変えず、そのまま引き継いでくれた部分があつても、あそこはもうクリスティーナの店なんです。彼女はとても楽しそうにエネルギーにやっつけてくれるし、きれいなお店になつて私もとてもうれしいですね。

MARIANNE STOCKEBRAND

マリアンヌ・ストックブランドにインタビュー。

クリスティーナの話に何度も登場するだけでなく、彼女の協力者たちも口々に「マリアナ」の名前を出す。マーファアを面白くした人物のひとり、マリアナに話を聞いた。



マリアンヌ・ストックブランド(チナティ・ファウンデーション)の名譽ディレクター。みんなからは「マリアナ」と呼ばれている。ドナルド・ジャッドの理想を正しく理解し、「チナティ」の運営を現在のよう形にすることに大きく貢献した人物のひとりだ。



在りし日のDonald・ジャッド。

DONALD JUDD

ジャッドが目指したものの。

作品だけでなく、制作スタジオから生活の場に至るまで、マールファはDonald・ジャッドという現代美術作家の、アイデアすべてを实践するための場所だった。

©Judd Foundation. Licensed by VAGA, NY/JASPER, Tokyo, 2013

Donald・ジャッド 1928年にアメリカ合衆国ミズーリ州に生まれる。陸軍除隊後に美術と哲学を学ぶ。美術作家としてだけでなく美術評論家としても活躍。マールファに移住したのは71年。94年にニューヨークで死去。

以上のほか、ジャッドは、その作品制作だけでなく、ジャッドはそれがどのように扱われ展示されるかを重視していた。多くの美術館やギャラリーはアーティストの意向をまったく尊重しておらず、信頼するに足らないと考えた彼は、1968年にニューヨークのスプリングストリートにある5階建てのビルを購入し、そこに自分の作品を中心に永久的な展示をするに決めた。スペースが狭く、しばしば不便なため、新たな場所を求めてアメリカの南西部を中心にメキシコやカリフォルニアを旅して回った。そして最終的にテキサス州マールファが、自分の建築的なアイデアを实践する上で最適な土地と考え、70年代の初頭に移住する。まず「ザ・ブロック」と呼ばれる土地と建物を購入し、そこを自邸とスタジオとライブラリーに。78年にはD・A・F・A・W・N・D・E・I・O・Nと共同で、軍用施設だった広大な土地を、美術作品を永久展示する現代美術館設立のために購入。それがチナティ・ファウンデーションである。初めに設置されたのはジャッド自身の作品《コンクリートワークス》で、敷地の東側の屋外にコンクリートブロックの列が並び、また、第二次世界大戦時にはドイツ兵捕虜の収容施設だった建物に、タン・フレイヴィンの蛍光灯を使った作品を展示するなど、ジャッドを含めた12名の現代美術作家の作品がコレクションされている。

チナティ・ファウンデーション以外の、マールファに点在するジャッドの自邸やスタジオは、ジャッド・ファウンデーションが管理しており、見学が可能だ。スタジオにも自身の作品が展示されているが、もともと銀行だった建物を購入して作られた「アーキテクチャ・スタジオ」には、ジャッドの建築にまつわるスケッチや、彼の家具コレクションなどが当時のままの配置で整然と並べられ、作品と同等にジャッドの創造力とビジョンと空間処理能力を垣間見ることが出来る。また、「ザ・ブロック」にあるスタジオには、ネイティブアメリカンのクラフトやバッグ、パイプ音楽のレコードなどの収集品があり、ジャッドという人物を理解する上で興味深い。

作

品を制作するだけでなく、ジャッドはそれがどのように扱われ展示されるかを重視していた。多くの美術館やギャラリーはアーティストの意向をまったく尊重しておらず、信頼するに足らないと考えた彼は、1968年にニューヨークのスプリングストリートにある5階建てのビルを購入し、そこに自分の作品を中心に永久的な展示をするに決めた。スペースが狭く、しばしば不便なため、新たな場所を求めてアメリカの南西部を中心にメキシコやカリフォルニアを旅して回った。そして最終的にテキサス州マールファが、自分の建築的なアイデアを实践する上で最適な土地と考え、70年代の初頭に移住する。まず「ザ・ブロック」と呼ばれる土地と建物を購入し、そこを自邸とスタジオとライブラリーに。78年にはD・A・F・A・W・N・D・E・I・O・Nと共同で、軍用施設だった広大な土地を、美術作品を永久展示する現代美術館設立のために購入。それがチナティ・ファウンデーションである。初めに設置されたのはジャッド自身の作品《コンクリートワークス》で、敷地の東側の屋外にコンクリートブロックの列が並び、また、第二次世界大戦時にはドイツ兵捕虜の収容施設だった建物に、タン・フレイヴィンの蛍光灯を使った作品を展示するなど、ジャッドを含めた12名の現代美術作家の作品がコレクションされている。



左/ファウンデーションミュージアム。未完成のプロジェクト用のサンプルなどが並んでいる。右/ザ・ブロック内のジャッドハウスにあるウィンターベッドルーム。



CHINATI FOUNDATION

ツアーは有料で予約制。撮影不可。フルコレクションは10時~16時(昼食休憩あり)、25ドル。セレクションツアー(ジャッド、チェンバレン、フレイヴィンの作品)は11時~13時、20ドル。《100 WORKS IN MILL ALUMINUM》のみの見学は15時45分~16時15分、10ドル。月曜・火曜・祝日休。☎(1)432-729-4362。http://www.chinati.org



JUDD FOUNDATION

ツアーは有料で予約制。撮影不可。ブロックツアー(自邸と敷地全体、併設のスタジオ、ライブラリー)は水~土の16時30分から約1時間、20ドル。スタジオツアー(ブロック以外の建築、スタジオ、コブハウスなど)は金・土・日の14時から約1時間30分、30ドル。予約はウェブサイト。http://www.juddfoundation.org/visit_marfa

MARFA SMART NAVI

クリスティーナ・キム公認 マーファ完全攻略ガイド

ドナルド・ジャッドの作品のスケールとは対照的に
マーファはコンパクトで小さい町。〈THUNDERBIRD HOTEL〉を
視点にすれば歩いて回れる。朴訥とした町並みに、
どこかスタイリッシュな空気を感じながら、のんびりと歩きたい。
クリスティーナ・キム公認、世界でただひとつのスマートナビ!

photo_Aya Muto text_Housekeeper map_Keriji Oguro

〈ティエンダ M〉の前から望
むマーファの中心地。正面に
はコートハウス。マーファは
雲の表情がとっても豊か。

☒ SHOPPING

THE GET GO

ゲット・ゴー

オーガニックなグローサリーショップ。

チナティ財団のジャッド・ツアー用の買い出しのために
クリスティーナが案内してくれたグローサリーショップ。
「ホームパーティーでビビンバやちょっとしたコリアン
料理を作ったりするには欠かせないお店よ。何でもある
の」。エスニック食材だけでなくオーガニックなアイテ
ムをそろえる、マーファのとおきグローサリー。

●208 S. Dean St., Marfa, TX ☎(1)432-729-3335。9時～
20時。無休。http://thegetgomarfa.com



☒ FOOD

MARFA BURRITO

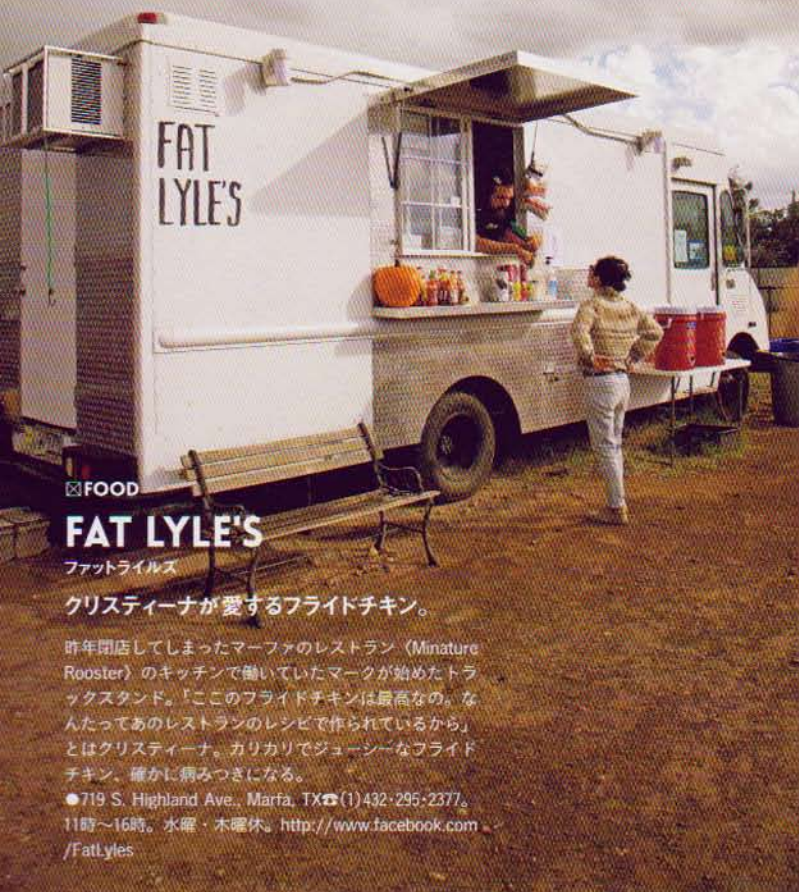
マーファプリト

まずは駆け込みたいマーファの食堂。

マーファに来てこのプリトを食べないなんてあり得ない。
メキシコ出身のラモーナが始めた食堂には朝早くから
ローカルがひっきりなし。本場サイズのボリュームだが、
軽くてとても洗練された味。チョリソ&ウィンナーの
プリトがあえておすすめだが、ベジタリアンメニュー
も豊富。10ドルもあれば大満足のCP。

●515 S. Highland Ave., Marfa, TX。5時～13時。営業
時間、休みは日によって流動的なので要注意。





FOOD

FAT LYLE'S

ファットライルズ

クリスティーナが愛するフライドチキン。

昨年閉店してしまったマーファのレストラン (Miniature Rooster) のキッチンで働いていたマークが始めたトラックスタンド。「このフライドチキンは最高の。なんたってあのレストランのレシピで作られているから」とはクリスティーナ。カリカリでジョーシーなフライドチキン。確かに病みつきになる。

●719 S. Highland Ave., Marfa, TX ☎(1)432-295-2377。
11時~16時。水曜・木曜休。http://www.facebook.com/FatLyles

SHOPPING

SPRADLEY HATS

スブラドリーハッツ

カウボーイ・イメージ・メイカーの帽子屋。

カウボーイのイメージメーカーとも称されるジム。リジッドの501にボタンダウンのシャツを第一ボタンまで留めた神経質そうなムード同様、彼が作るハットは繊細にしてエレガント。珠玉の手触りと精密なシルエットのハットはオーダーして完成まで約半年。待つかいあり!

●2701 B. E. Hwy 90, Alpine, TX ☎(1)432-837-3061。8時~17時30分。土曜・日曜休。またはアポイント。http://www.spradleyhats.com



FOOD

COCHINEAL

コチニール

日本人シェフによるクリーンな料理。

マーファでここまで洗練された料理に出会えるとは衝撃。マンハッタンの人気レストラン (Etats-Unis) のトムと日本人シェフのトシが、マーファに移転。和テイストの賢いフュージョン料理に焦がれて、滞在中毎日通うゲストも。デザートのプロデュースはぜひ体験したい。

●107 W. San Antonio St., Marfa, TX ☎(1)432-729-3300。
18時~22時。水曜休。http://www.cochinealmarfa.com

SHOPPING

COBRA ROCK BOOT COMPANY

コブラロック ブーツカンパニー

ヴィンテージスタイルのラギッドブーツ。

ここで作られるブーツはたったひとつのスタイル。1940年代独特のヴィンテージジャケットボアヒールというクラシックなモデル。ソールの部分から靴ひもまで全工程をテキサス出身のコルトとローガンが手がける。リーバイスの (made here) からもオファーがあるほど。土臭く、素朴なフォルムは股を選ばない。450ドル~。

●107 S. Dean St., Marfa, TX。11時~17時。月曜・火曜休。http://www.cobrarock.com



SHOPPING

MOONLIGHT GEMSTONES

ムーンライト ジェムストーンズ

マーファアガットのパワーを授かる。

テキサスアガットの中でも、マーファアガットは神秘的なパワーを持ち合わせているとか。美しい石が採れるためこの土地の人は、石への信仰も強い。そんなコレクターが聞いたのがこのお店。クリスタルから天然のアガット、ジュエリーも。不思議な時間が流れるお店。

●1001 W. San Antonio St., Marfa, TX ☎(1)432-729-4526。
10時~18時。日曜休。http://moonlightgemstones.com/



テキサスといえばテキスメクス発祥の地。マーファに来たならメキシカンはずせないメニューのひとつ。マーファのメキシカンは総じて軽くて、ボリュームも抑えめ。いかにもアミーゴな外観で誘いかける(TACOS DEL NORTE)なタコス(小麦)かコーンが選べる。せっかくだから、両方をオーダーして食べ比べたい。

●1500 W. San Antonio St., Marfa, TX ☎(1)432-729-4540. 10時~15時。日曜休。

FOOD

TACOS DEL NORTE

タコス デル ノルテ

まずはタコスで小腹を満たせ!



MARFA TOWN MAP

マーファタウンはハイランドアベニューとサンアントニオストリートの交差点を中心に15分もあれば、たいがいアクセス可能なコンパクトな町。クルマで20分ほどの隣町、アルパインはホテルなどもあるにぎやかで開けた町なので、そこを拠点にステイするのも選択肢のひとつとなるかも。



ACCOMMODATION

THUNDERBIRD HOTEL

サンダーバードホテル

モーテルをリノベしたデザインホテル。

古いモーテルをリノベしたデザインホテル。マーファのタウンをベースにするには最適。町中ならどこも徒歩でアクセスできる。クリスティーナがマーファソープと初めて出会ったのもこのホテル。地元のクラフトをあしらったモダンなインテリアとセンスのいいアメニティー、とても洗練されたホテル。全24室。120ドル~(税別)。

●601 W. San Antonio St., Marfa, TX ☎(1)432-729-1984. <http://www.thunderbirdmarfa.com>



室内はモダンでシンプル。テキサスのクラフトワークがセンスよくあしらわれる。



ACCOMMODATION

EL COSMICO

エル コスミコ

マーファらしさを感じるアコモデーション。

ジャッドのコンクリートブロック彫刻が眺まる手前にあるエル コスミコは広大な敷地にトレーラーを並べた宿泊ロッジ。マーファらしい任性的なロケーションが楽しめる。トレーラー以外にも常設テント、テントサイトのみでのレンタルもあり。トレーラーは1泊110~150ドル(税別)。テントは1泊65ドル(税別)。

●802 S. Highland Ave., Marfa, TX ☎(1)432-729-1950
<http://www.elcosmico.com>



トレーラーは色、形などさまざま。キッチンには食器や電子レンジなども完備。



SHOPPING

MARFA BOOK COMPANY

マーファブックカンパニー

マーファカルチャーの発信地。

ティエンダ Mの隣にある〈マーファブックカンパニー〉は単なる本屋にとどまらない。リーディング、パフォーマンス、アートの場としてカルチャーを発信している。図書館としての機能も持たせたリーディングルームまで設けているほどのこだわり。

●105 S. Highland Ave., Marfa, TX ☎(1)432-729-3906。
10時~19時(日11時~17時)。月曜・火曜休。<http://marfabookcompany.wordpress.com/>



GALLERY

EXHIBITIONS 2d

ツーディー

クールな編集力が冴えるギャラリー。

「オーナーのデニス・ディッキンソンの編集力がすごい。狭い領域で、焦点を絞ってる」。著名なモダニストの作品から、ランチャーが作る鉄のオブジェなどの作品群。1890年代の農家の家をクールに改装した行まい。マーファにあるべきギャラリーのカタチ。

●400 S. Highland Ave., Marfa, TX ☎(1)432-729-1910。
11時~18時。月曜・火曜休。アポイント可。<http://www.exhibitions2d.com>

FOOD

FOOD SHARK

フードシャーク

ジャッドと過ごすランチタイム。

ティエンダ Mの向かいにある屋外の公共スペース、シェイドストラクチャーにはジャッドのテーブルやベンチが無造作に並ぶ。いかにもジャッドの聖地ともいえる景観。そんなとっておきの広場にランチタイムとなるとこのフードトラックがやってきます。ジャッドのベンチに腰掛けてのランチ。かなり贅沢なひととき。レッドカレーココナツ(9ドル)がおすすめ。

●@The Shade Structure。火曜~全曜11時30分~15時。
<http://www.foodsharkmarfa.com/>

